

米国大学における 1 平方フィート当たりの炭素排出量、2007 年～2014 年の 8 年間で
13%減少 (1 月 13 日)

教育機関を支援するサイトラインズ社 (Sightlines) とニューハンプシャー大学 (University of New Hampshire : UNH) のサステナビリティ研究所 (Sustainability Institute) は、高等教育機関におけるサステナビリティへの取り組みに関する報告書「2015 年高等教育機関におけるサステナビリティ状況 ～排ガス基準、消費動向、成功のための戦略 (2015 The State of Sustainability in Higher Education: Emissions Metrics, Consumption Trends & Strategies for Success)」を発表した。本報告書は、全米 44 州に所在する大学 343 校のデータに基づき、キャンパス・カーボン計算 (Campus Carbon Calculator : CCC) 法を利用して分析・作成されたものである。これによると、米国大学における 1 平方フィート当たりの炭素排出量は、2007 年～2014 年の間に 13%減少したことが明らかにされた。また、1 平方フィート当たりのエネルギー消費量は、上記 8 年間で 2%減であることも明らかになった。これらの変化は、燃料が石炭・石油から天然ガスへと移行したために、大学構内におけるカーボン・フットプリントが減少したことが原因と分析されている。

なお、本報告書は、

<<http://www.sightlines.com/wp-content/uploads/2016/01/The-State-of-Sustainability-in-Higher-Education-2015.pdf>>からダウンロード可能。

Sightlines, Colleges Reduced Carbon Emissions By 13% Per Foot Since 2007,
According to Sightlines-UNH Report
<http://www.sightlines.com/sightlines-unh-sustainability-report/>